



静岡県産みかんやいちご等の試食大好評 JA静岡経済連が試食宣伝会を開催！

JA静岡経済連による青果物トップセールス

- 期日：12月14日(木)
- 場所：大田市場 東京青果(株)、東京荏原青果(株)
- 主催：JA静岡経済連
- 内容：静岡県産青果物の紹介や試食宣伝等

「たまねぎ」、「きらび香」、「いちじく」等は増加傾向！

これから静岡県産青果物の本格出荷を迎えることから、JA静岡経済連会長や県下15JA組合長等の関係者が多数来場してトップセールスが開催されました。

静岡県のH28年野菜上位5品目(H28/H24の入荷量伸長率)は、レタス(88%)、たまねぎ(141%)、セロリ(84%)、トマト(107%)、男爵(99%)で、その占有率はレタスが8%(都中央入荷量4位)、たまねぎが3%(同5位)、セロリが26%(同2位)、トマトが3%(同11位)、男爵が7%(同2位)となっています。また、静岡県の果実は、その他いちご(きらび香)、いちじく、かき類の都中央入荷量が増えており、入荷量伸長率(H28/H24)はその他いちご4014%(都中央入荷量3位)、いちじくが217%(同3位)、かき類200%(同9位)となっています。

静岡県産いちごの生育は遅れ気味だが食味は良好！

当日は、静岡県産「青島みかん(青島温州)」と静岡県育成いちご2品種「紅ほっぺ」、「きらび香」や、今が旬の静岡県産野菜を使用した「セロリのスープ～レタス添え～」が市場関係者に試食提供されました。また、地元ラジオ局とタイアップした静岡県産いちごのラッピングカーもお披露目され、静岡県産いちごや青果物をPRしました。

静岡県産いちごの定植は順調に進んで例年通り10月から出荷は始まりましたが、10月からの曇天と最近の冷え込みで増量ペースは鈍っています。しかし、着果は良好で概ね平年並の出荷量を見込んでいます。野菜類の生育は、長雨と台風により全般的には遅れ気味ですが、これからレタス・セロリ・トマトなどを中心に出荷量は増えてくると見込んでいます。



東京青果の展示



荏原青果の展示



東京青果での試食宣伝の様子



静岡県産いちごのラッピングカー
(助手席側では紅ほっぺをPR)